

令和4年度 現地研修集会の開催について

主催：農業農村工学会農村計画研究部会

共催・協賛：農村計画学会，立梅用水土地改良区，一般社団法人ふるさと屋，西村彦左衛門×ICT・IoT 技術実証グループ

1. 日 程 令和4年7月30日（土）

2. 場 所 三重県多気郡多気町 立梅用水土地改良区内の施設

3. テーマ 中山間地域におけるスマート農業実証と今後の展望

4. 趣 旨

気候変動や人口減少等が進む中，地域農業の高靱性や持続可能性を維持・向上させることは喫緊の課題です。一方で，農村地域では，スマート農業をはじめとする減災・防災，獣害対策などの監視システムが各地で導入されてきています。しかしながら，それぞれが独自のシステムであるためこれら情報が一元的でないなど，スマート化による地域農業の持続的発展には多くの課題が山積しています。

今回の現地研修会では，「農業インフラの多目的活用による多面的機能の発揮と強靱な中山間農業のための技術体系の実証（西村彦左衛門×ICT・IoT 技術実証グループ）」から，上記の課題解決に資する知見を探究することを目的とします。

立梅用水土地改良区における情報通信環境施設や整備状況を見学し，現場で明らかになったそれぞれの技術や課題，そしてそれら解決法について，現場の担当者ならびに実証グループ担当者から説明をいただきます。また，それら施設をとりまく農村空間や村民生活の変化に合わせた水利施設管理などの状況についても現地の方からお話をお伺いする予定です。

皆様方の積極的なご参加をお持ち申し上げます。

なお、本現地研修集会は、農業農村工学会全国大会中に開催される企画セッション「中山間地域でのスマート農業を誰が担うのか？」とも関連した企画です。

5. 行 程

10時 立梅用水土地改良区 集合

(参考) 松阪駅より車で約30(約17km)

情報通信機器の整備状況の説明

スマ農機器による効果の説明の実際の稼働

12時 昼休憩

13時 スマ農機器の現地視察

15時 現地解散

6. 参加費・参加申込み

(1) 参加費（昼食代を含む）

一般 3,500 円、学生 2,000 円

(2) 参加申込み

申込期限：7月6日（水）まで

変更・取り消し：7月13日（水）までに申込先へ連絡

申込方法：農村計画研究部会 Web ページ（<http://www.jsidre.or.jp/keikaku/>）より参加申込書ファイルをダウンロードし、申込先へ電子メールで送信

申込先：農村計画研究部会 現地研修集会担当

三重大学 森本英嗣 morimoto@bio.mie-u.ac.jp